

# 緑の回廊 やつがたけ 八ヶ岳

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署、南信森林管理署
所在地	長野県佐久市・立科町・佐久穂町・小海町・南牧村・茅野市・富士見町
面積	国有林：5,835.31ha、山梨県有林：818ha、長野県内民有林：216ha
設定年	平成15年
緑の回廊の概要 (設定目的)	緑の回廊設定区域は、千曲川上流森林計画区の蓼科山から伊那谷森林計画区の八ヶ岳連峰編笠山までの稜線を結ぶ区域で、八ヶ岳縞枯山希少個体群保護林、白駒コメツガ希少個体群保護林、八ヶ岳生物群集保護林、西岳・フウキ沢ヤツガタケトウヒ希少個体群保護林の各保護林を連結し、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促す等森林生態系の保護・保全を図る。



八ヶ岳遠望



ニホンジカ

## モニタリング調査の概要

実施年度	令和3年度
調査項目	樹木の生育状況、野生動物の生息状況（哺乳類）、ニホンジカによる植生被害状況
調査手法	既設の調査プロット8箇所において、森林概況調査、森林詳細調査、哺乳類調査（フィールドサイン、自動撮影）、及びニホンジカ植生被害調査を行った。また、農林業被害と狩猟鳥獣に関して、資料調査と聞き取り調査を行った。
結果概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・森林では、シラビソを中心にシカの剥皮被害が多く、立ち枯れが目立つようになっている。また、シカの食害の影響が顕著に表れており、一部地域を除いて後継樹が育っておらず、多様性も著しく低下している。</li><li>・動物調査では、痕跡調査及び直接観察により10科14種の哺乳類の生息痕跡を確認した。また、自動撮影では9種が確認され、ニホンジカが撮影回数全体の9割と高い割合を締めた。</li><li>・聞き取り調査では、カモシカの目撃が減り、ニホンジカの目撃や南部地域でツキノワグマの目撃が増加している。</li><li>・農林業被害では、ニホンジカによる樹皮剥ぎは継続して増加しており、シラビソなどの針葉樹以外に、ナナカマドやダケカンバにも及んでいる。</li></ul>

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。